

開催日 平成20年 1月25日 (金)
時間 12:40~16:50
(受付開始 12:10~)
会場 大手町サンケイプラザ 303-304号室
主催 独立行政法人 電子航法研究所

講演会プログラム

~次世代の効率的な航空交通管理について~

開会の辞	12:40~
電子航法研究所 理事長 平澤 愛祥	
1. THE "SESAR" ATM TARGET CONCEPT FOR 2020: POTENTIAL IMPACT ON ATC WORKING POSITIONS (SESAR=Single European Sky for ATM R&D) (SESAR、2020年にATMが目標とする概念:ATC業務へのインパクトの可能性) SESAR計画(D3)の目標とする概念が公表された。これは、目標とする概念に移行するために本質的なものである。ATMの目標とする概念のなかで、研究開発機関は航空管制の未来を明確にする責任がある。特に、新しいツールで支援されるATC Officerの役割について責任がある。 Head of ATM R&D domain for DSNA, TOULOUSE, FRANCE Patrick DUJARDIN	12:50~13:50
(休憩 10分)	
2. SESAR: THE NEW SEPARATION MODES FOR INCREASED CAPACITY, SUPPORTED BY ATC SURVEILLANCE AND AIRBORNE SURVEILLANCE (SESAR:ATC監視と機上監視により支援される容量増加のための新しい間隔設定モード) ATMの目標とする概念において、管制官と機上ツールで支援されるような新しい間隔設定モードが漸次施行されるべきである。そして、そのときにはtrajectory管制と機上間隔設定システム(ADS-BとASAS)が起こりうるコンフリクトと管制の介入を最小限にするために使われるだろう。 Head of Separation and Alerting Systems skill unit, ATM R&D Domain for DSNA, TOULOUSE, FRANCE Jean-Marc LOSCOS	14:00~15:00
(休憩 10分)	
3. JALグループの環境活動について JALグループは、公共交通機関としての使命を果たす一方で、多量の燃料を使うことで環境負荷を与えています。空のエコ中・長期計画に基づき環境負荷削減の様々な活動をご紹介します。 株式会社 日本航空インターナショナル 地球環境部 吉田 建夫 氏	15:10~16:10
4. 将来の航空通信システムの動向 近年、国際民間航空機関等の航空通信関連会議で議論されている将来の航空通信システムの動向について報告する。 通信・航法・監視領域(CNS領域) 主幹研究員 住谷 泰人	16:10~16:40
閉会の辞	16:40~
電子航法研究所 理事 中坪 克行	

*すべての講座は質疑応答を含みます。

講演会事務局(独立行政法人電子航法研究所)

TEL 0422-41-3168 FAX 0422-41-3186 E-mail kikaku@enri.go.jp

※1 当日、英語の発表には同時通訳が設置されます。

※2 事前登録が必要となりますので、弊所HPよりお申し込み下さい。
(申し込み〆切は、平成20年1月10日までとさせていただきます。)

※3 詳しくはホームページをご参照下さい。

<http://www.enri.go.jp/index.shtml>